

UNIXサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver.6.17R01 → Ver.6.17R02)

2005年6月24日

パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

UNIXサーバー版が Ver.6.17R02 にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

不具合修正

GlobalFlow

up_bg	<p>書類一括出力機能にて以下の条件のときバックグラウンド処理プロセスが異常終了して処理が完了しない不具合を修正しました。</p> <p>出力対象ワークフローデータに保存されている帳票の各入力項目(text, textareaなど)の設定値が98バイトを超えていた場合</p> <p>なお、この不具合はVer6.16R00以降発生します。</p>
up_bg up_ptop	<p>CSV出力機能拡張が有効になっている場合で以下の条件のときバックグラウンド処理プロセスまたはPtoPプロセスが異常終了して処理が完了しない不具合を修正しました。</p> <p>保存インスタンスのデータ種別がCSVになっている、またはメールインスタンスのデータ種別がCSVになっている場合</p> <p>出力対象ワークフローデータに保存されている帳票の各入力項目(text, textareaなど)の設定値が98バイトを超えていた場合</p> <p>なお、この不具合はVer6.16R00以降発生します。</p>
プロトコル up_fb30	<p>保存先が自管理地域のフォルダーでかつ、以下の条件のとき「相手先サーバから受信できません」のエラーが発生する場合がある不具合を修正しました。エラーメッセージのみが出力される不具合で、処理自体は正常に終了しています。</p> <p>処理履歴が多い 注釈が多い 添付ファイルのサイズが大きい</p> <p>なお、この不具合はVer6.00R00以降発生します。</p>
プロトコル up_fb30	<p>ワークフローのテンプレート設定にて出力データをパス指定で保存している場合、正常なパスを指定しているのに関わらず「データ出力に失敗しました。格納先が見つかりません」のエラーが発生する不具合を修正しました。</p> <p>なお、この不具合はVer6.17R00以降発生します。</p>
プロトコル up_fb30	<p>ワークフローの遂行依頼メール等を外部メールサーバーを利用して送信すると、SubjectのISO2022文字列変換時に76バイトを超過する場合、2行目以降の改行がLFのみとなる不具合を修正しました。一部の外部メールサーバーで改行がLFだけの場合、メール送信エラーとなっていました。CR+LFが付与されるようになるため、エラーが発生しなくなります。</p> <p>なお、この不具合はVer6.00R00以降発生します。</p>

SMTPゲートウェイ

piostospool	<p>同時に複数の外部宛メールを送信した時にcc/bcc転送者にメールが送信されない不具合を修正しました。以下の条件のときのみ発生します。</p> <p>メール送信制限ユーザーの指定かつ許可ドメインリストの指定機能を利用していた場合</p> <p>なお、この不具合はVer6.13R01以降発生します。</p>
-------------	---

リアルタイムウイルスチェック

up_bg	<p>GlobalFamily サーバーが複数台構成でデータベースを共有している場合、サーバー番号が2以降のサーバーにてウイルスパターンファイルが更新されない不具合を修正しました。ウイルスパターンファイルを更新するには、<導入ディレクトリ>/vscan/etc/vscan.iniのVSUsePatternPathにて指定するディレクトリを複数サーバーで共有する必要があります。</p> <p>なお、この不具合はVer6.15R01以降発生します。</p>
-------	--